

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第42回】

地域の方々の大きな愛に支えられ、安全に楽しく過ごす若狭っ子

那覇市立若狭小学校長 崎 浜 順 子

本校は、那覇市の最西端に位置し海を臨み、港に出入りする船舶が白い航跡を残し、時おり響かせる汽笛は聞く人の詩情をそそります。海を吹き渡る風は新鮮なオゾンをつつぷりと含み、子どもたちの健康維持に大いに寄与しています。現在、13学級、児童数375名の学校です。

若狭小ふれあい教室は、平成18年度校舎の玄関スペースを改築して設置されました。琉球舞踊・空手・昔遊び・学習支援・フィールドワーク・花作り・大正琴の教室があり、曜日毎に活動内容が変わり、支援する地域の先生方も変わります。琉球舞踊・空手の教室は子ども達から人気があり、参加人数の多い教室です。学校の教育課程の限られた時間内では得られない郷土の貴重な伝統文化が体験でき、子ども達は地域の人と伝統文化に誇りと愛着をもって活動しています。

大正琴の皆さんは、平成20年と21年の2カ年連続して全国大正琴コンクール子どもビデオ部門で優勝を果たしております。昨年は地域文化まつりや学校行事である学芸会でも演奏披露することができ、全校児童・保護者・地域の皆様に大きな喝采を浴びました。

本校のふれあい教室は校内の学童クラブと連携をとり、双方の利点を生かしていることも特徴としてあげられます。学習支援・フィールドワーク・花作りの教室では、校内にある学童クラブの先生が支援をさせていただきます。ふれあい教室と学童クラブの活動が同じ学校敷地内にあることで、活動内容は一歩進んだ融合の形態をとることができます。多くの活動種目を準備することで、子どもの多岐にわたる興味関心に応え、活動内容や方法によって子どもに有用感をもたせ自分のよさを自覚させることができ、子どもへの成果は大きいです。

子ども達は、学校の授業を終え、ふれあい教室に一目散に走ってきます。先生方や仲間達に会えるのも楽しみですが、発表の場があることで、次の課題にチャレンジしていくことをとても楽しみにしています。先生方の指導を受けながら、地域や保護者、学校の先生方にほめられ、励まされ、活動意欲が旺盛です。明るく積極的にあいさつをする子どもが増えてきました。生活が前向きになり、学校の宿題もやり遂げるようになりました。友達どうしの遊び、他学年の子どもどうしのふれあい、地域の方との温かいふれあいがあり、豊かな人間関係が築かれています。また子どもの特性や良さが伸ばされ感性が磨かれています。

ふれあい教室は、放課後の子どもの安全安心な居場所としての遊びの場であり、学びの場でもあり、社会性育成の場となっています。ボランティアで見守り支援して下さる地域の皆様のご支援に、あらためて感謝申し上げます。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第144号に掲載）